

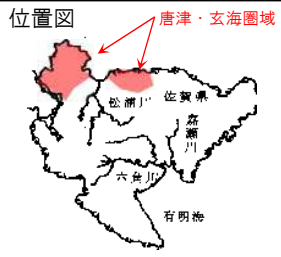
資料 5

流域治水プロジェクト の更新

唐津・玄海圏域 二級水系流域治水プロジェクト【位置図】（案）

～玄界灘にそそぐ多様な特徴を有する河川の流域における流域治水対策の推進～

○ 平成30年7月出水、令和元年佐賀豪雨をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、河道掘削等の整備に加えて、当該地域特性に応じたため池等の事前放流等による雨水貯留機能の向上、河川監視カメラの拡充等の防災情報伝達手段の強化による早期避難体制構築など、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進する。



玄海町

・防災意識の向上に向けた、総合防災訓練の実施
・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する住民説明会

要配慮者利用施設等との訓練



水防災教育

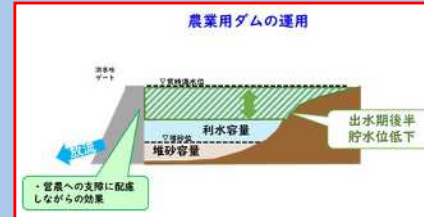


ハザードマップ

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・早期避難の推進と防災情報伝達手段の強化
- ・防災意識の向上に向けた、関係機関と連携した防災教育の推進
- ・防災ハザードマップ・ため池ハザードマップの作成・周知
- ・簡易水位計、監視カメラの拡充
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と訓練の実効性確保
- ・報道機関と連携した情報発信の強化
- ・水害リスク情報の拡充 等

※今後、関係機関と連携し対策検討



(河道掘削等)

牟田川、野田川、金草川、谷口川、小川、今坂川、野井原川、橋本川、西郷川、湯川 等

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、堤防整備、河道拡幅、護岸整備、橋梁・堰改築、樋管改築、排水機場・水門点検更新 等
- ・ため池の補強・有効活用
- ・農業水利施設の整備及び有効活用
- ・利水6ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
- ・森林の整備・保全
- ・土砂や流木の流出抑制対策(砂防、治山) 等
- ・海岸保全施設の整備・機能確保
- ・**排水ポンプ車の導入・運用**
- ・河川管理施設等の機能向上(遠隔操作化、耐水化等)

※今後、関係機関と連携し対策検討



水源林の整備 (育成復層林)



貯留施設

■被害対象を減少させるための対策

- ・一定規模以上の開発行為には貯留等を義務付け
- ・不動産取引時の水害リスク情報提供
- ・立地適正化計画の推進 等

森林整備・治山対策

※松浦川水系については、武雄河川事務所にて策定

出典：国土地理院、数値地図(国土基本情報)

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

唐津・玄海圏域 二級水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～玄界灘にそそぐ多様な特徴を有する河川の流域における流域治水対策の推進～

唐津・玄海圏域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】浸水被害軽減のため、河道掘削や、河道狭窄部の解消を実施する。また、水害リスク空白地帯の解消を図り、避難体制を強化する。

【中期】河川監視カメラ等を拡充し、避難体制を強化する。

【中長期】河川等の流下能力不足解消のため、河川改修を実施し、また、土砂・流木の流出抑制対策を実施する。

併せて、ため池等の農業水利施設の有効活用や森林整備等の「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」、一定規模以上の開発行為に対する貯留施設設置等の義務付け等の「被害対象を減少させるための対策」、避難訓練や、ハザードマップの作成等の「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、河道拡幅、護岸整備、橋梁・堰改築、樋管改築、排水機場・水門点検更新 等	唐津市、玄海町、佐賀県	河道掘削 等	河川改修、維持管理	
	ため池の補強・有効活用	唐津市、佐賀県			
	農業水利施設の整備及び有効活用	唐津市、佐賀県			
	利水ダム等6ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	唐津市、玄海町、企業、北部九州土地改良調査管理事務所、佐賀県			
	森林の整備・保全	唐津市、玄海町、まつら森林組合、佐賀森林管理署、佐賀県、森林整備センター佐賀水源林整備事務所		森林整備事業の実施・水源林造成事業の実施・間伐等	
	土砂や流木の流出抑制対策(砂防、治山)	佐賀県、佐賀森林管理署		砂防施設整備 治山事業の実施	
	排水ポンプ車の導入・運用	唐津市、佐賀県			
	河川管理施設等の機能向上(遠隔操作化、耐水化等)	佐賀県			
被害対象を減少させるための対策	不動産取引時の水害リスク情報提供	唐津市、玄海町			
	一定規模以上の開発行為には貯留等を義務付け	佐賀県		10,000m ² 以上の開発行為には貯留等を義務付け	
	立地適正化計画の推進	唐津市、(佐賀県)			
	雨水貯留浸透施設設置基準の検討と運用	唐津市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	唐津市、玄海町、佐賀地方気象台、佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> 水害リスク情報の空白地帯の解消 早期避難の推進と防災情報伝達手段の強化 ・防災意識の向上に向けた、関係機関と連携した防災教育の推進 ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進 ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性の確保 報道機関と連携した情報発信の強化・水害リスク情報の拡充 等 	<ul style="list-style-type: none"> 河川流域消防団のリーダー育成 ・水防候補の指導 ・水害タイムラインの作成 簡易水位計、監視カメラの拡充 	

※スケジュールは今後の事業進捗によって、変更となる場合があります。